

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会・京都市政記者クラブ・京都市経済記者クラブ  
 に配布しております。

平成 27 年 7 月 8 日  
 理事長 松山 良一

## 米大手旅行雑誌「Travel+Leisure」誌観光ランキングで京都が 2 年連続世界一に 米国市場における日本各地への注目が拡大中

米国の旅行雑誌最大手「Travel+Leisure(トラベル・アンド・レジャー)」誌が毎年夏に発表する読者投票ランキング「World's Best Awards」が 7 月 7 日ニューヨークで発表され、世界の魅力的な都市を決める「Top Cities」ランキングで、日本の都市としては「京都」が昨年に引き続き 2 年連続の第 1 位に輝きました。

今回の京都の快挙は、同市による継続したブランディングや外国人旅行者のおもてなしの取組に加えて、米国における観光庁/JNTO のビジット・ジャパン事業の積み重ねの成果としても意義深いものと考えます。

JNTO では日本各地への誘客を図るため、近年多様な地域に焦点を当てた訪日プロモーション事業を展開しており、米国内での日本各地への知名度や好感度が向上しています。

※米国の旅行ランキングにおける日本各地のランキン例については別紙をご覧ください。

米国からの訪日旅行者数は現在 14 カ月連続で各月の過去最高の記録を更新中で、本年 1 月から 5 月の累計は対前年比 13%増の 40 万 5 千人となりました。JNTO では、引き続き、伝統、食文化、モダンアートや建築デザインといった多方面から、日本各地の魅力を発信することにより、一層の誘客を図って参ります。

・「Travel+Leisure」誌：月刊 100 万部近くの売り上げを誇る米 TIME Inc.社発行の大手旅行雑誌。北米富裕層を主なターゲット層とし、世界的にも強い影響力を持つとされる。

・「World's Best Awards」:「Travel+Leisure」誌が 1995 年から実施している観光地、観光施設・サービスに関する読者投票型のランキング。(ランキングについては以下よりご覧いただけます。)

<http://www.travelandleisure.com/worlds-best>

### <ワールドベストシティ 上位 10 都市>

1 位	京都 (日本)	91.22 点
2 位	チャールストン (アメリカ)	89.84 点
3 位	シェムリアップ (カンボジア)	89.57 点
4 位	フィレンツェ (イタリア)	89.43 点
5 位	ローマ (イタリア)	88.99 点
6 位	バンコク (タイ)	88.91 点
7 位	クラクフ (ポーランド)	88.69 点
8 位	バルセロナ (スペイン)	88.59 点
9 位	ケープタウン (南アフリカ)	88.27 点
10 位	エルサレム (イスラエル)	88.18 点

### <アジア地区 上位 10 都市>

1 位	京都 (日本)	91.22 点
2 位	シェムリアップ (カンボジア)	89.57 点
3 位	バンコク (タイ)	88.91 点
4 位	東京 (日本)	85.25 点
5 位	香港 (中国)	83.98 点
6 位	シンガポール (シンガポール)	82.46 点
7 位	ハノイ (ベトナム)	82.26 点
8 位	上海 (中国)	81.91 点
9 位	ホーチミン (ベトナム)	80.48 点
10 位	ニューデリー (インド)	80.10 点



## 米国の旅行ランキングにおける日本各地のランクイン例

・「National Geographic(ナショナル・ジオグラフィック)」誌

2015年ベスト・トリップ(Best Trips 2015)に「高野山」が、ベスト・スプリング・トリップ(Best Spring Trips 2015)に北陸新幹線で行く「東京」と「北陸」が、ベスト・ウインター・トリップ(Best Winter Trips 2015)に「野沢温泉」のスキーと温泉が、それぞれ選出された。

・「The Huffington Post(ハフィントン・ポスト)」

2015年の注目の観光地(The Destination to Watch in 2015)に日本が選出された。

・「The New York Times(ニューヨークタイムズ)」紙

2015年に行くべき52カ所の観光地(The New York Times 52 Places to go in 2015)で「四国」が35位。

・「Lonely Planet(ロンリー・プラネット)」誌

世界の魅力的な観光地ランキング 2014(Lonely Planet's Best in Travel 2014)で「北陸地方」が4位。

・大手グルメ雑誌「SAVEUR Magazine(サヴァール・マガジン)誌」

Culinary Travel Awards 2014 でエキスパートが選ぶベスト・マーケット&ショップ、インターナショナル・カルナリーシティ(Experts' Choice Large City, Best Markets & Shops, International Culinary City)に「東京」が選出された。

問い合わせ先:

日本政府観光局(JNTO)海外プロモーション部 担当: 伊与田 長谷川 電話 03-3216-1902

(お知らせ)  
(経済・京都市同時)

平成 27 年 7 月 8 日  
産 業 観 光 局  
公益財団法人京都文化交流  
コンベンションビューロー  
(担当：観光 MICE 推進室 電話：746-2255)

2年連続の世界1位！  
日本の都市初の快挙！

## 京都市が世界で最も魅力的な観光都市に選ばれました！

～米国「Travel+Leisure」誌 読者投票で京都がベストシティランキング世界 1 位に！～

世界で最も影響力をもつ旅行雑誌のひとつ、「Travel + Leisure (トラベル・アンド・レジャー)」誌が行った読者投票「ワールドベストアワード 2015」において、**世界の人気都市を決める「ワールドベストシティ」ランキングで、京都が2年連続で1位になりました**のでお知らせします。

これは、昨年、京都が日本の都市として初の1位に選ばれて以降も、本市、(公社)京都市観光協会及び(公財)京都文化交流コンベンションビューローにおいて、市民・事業者の皆様と協力して取り組んできたプロモーションと、市民の皆様の御理解・御協力の下、本市が取り組む京都らしい景観の保全・創出や受入環境整備等、あらゆる施策が総合的に結実したものと考えられます。

本市では、引き続き、観光都市としての質の向上を図り、世界における「KYOTO」ブランドの確立を目指します。

### ★2015年

#### <ワールドベストシティ 上位10都市>

1位	京都(日本)	91.22点
2位	チャールストン(アメリカ)	89.84点
3位	シェムリアップ(カンボジア)	89.57点
4位	フィレンツェ(イタリア)	89.43点
5位	ローマ(イタリア)	88.99点
6位	バンコク(タイ)	88.91点
7位	クラクフ(ポーランド)	88.69点
8位	バルセロナ(スペイン)	88.59点
9位	ケープタウン(南アフリカ)	88.27点
10位	エルサレム(イスラエル)	88.18点

#### <アジア地区 上位10都市>

1位	京都(日本)	91.22点
2位	シェムリアップ(カンボジア)	89.57点
3位	バンコク(タイ)	88.91点
4位	東京(日本)	85.25点
5位	香港(中国)	83.98点
6位	シンガポール	82.46点
7位	ハノイ(ベトナム)	82.26点
8位	上海(中国)	81.91点
9位	ホーチミン(ベトナム)	80.48点
10位	ニューデリー(インド)	80.10点

### ■「Travel+Leisure」誌 Nathan Lump 編集長によるコメント

「Travel + Leisure」誌の読者は、世界中を旅しており、求めるものも格段に多い。その中、京都は、素晴らしい景色や豊かな文化、多種にわたる食の楽しみなど、非常に多くのものを提供できる旅行先として際立っており、90点を超える高得点を獲得した。京都が、最高の経験をできる場所であることは、疑う余地がない。

(参考) 「Travel +Leisure」誌「ワールドベストアワード」について

「Travel+Leisure」誌は100万部近い売上げを誇る月刊旅行雑誌です。北米のリーダー層が主な読者で、世界的にも強い影響力をもつと言われています。「ワールドベストアワード」は同誌で1995年から始まった読者投票ランキングで、世界の観光都市やホテル、クルーズ、旅行会社、航空会社等のカテゴリに分かれます。今回のベストシティの採点ポイントは、風景/旧跡・名所、文化/芸術、レストラン/食べ物、人、買い物、価値の6つです。

\* 下記のホームページからご覧になれます。

<http://www.travelandleisure.com/worlds-best/cities#overall>

なお、7月23日にニューヨークで開催される授賞式には、京都市から小笠原副市長、三重野MICE戦略推進担当部長が出席する予定です。

# 2015年 Travel+Leisure ワールドベストシティで京都が 2年連続 世界1位に！

～海外の権威ある旅行誌でますます高まる京都の評価～

## 2015年 2年連続で1位に！

1		京都(日本)	91.22
2		チャールストン(アメリカ)	89.84
3		シェムリアップ(カンボジア)	89.57
4		フィレンツェ(イタリア)	89.43
5		ローマ(イタリア)	88.99
6		バンコク(タイ)	88.91
7		クラクフ(ポーランド)	88.69
8		バルセロナ(スペイン)	88.59
9		ケープタウン(南アフリカ)	88.27
10		エルサレム(イスラエル)	88.18

## 2014年 遂に京都が1位に！

1		京都(日本)	90.21
2		チャールストン(アメリカ)	90.18
3		フィレンツェ(イタリア)	89.99
4		シェムリアップ(カンボジア)	89.82
5		ローマ(イタリア)	89.61
6		イスタンブール(トルコ)	89.58
7		セビリア(スペイン)	89.28
8		バルセロナ(スペイン)	89.18
9		メキシコシティ(メキシコ)	89.07
10		ニューオリンズ(アメリカ)	88.74

## 2013年には 世界5位に躍進！

1	バンコク(タイ)
2	イスタンブール(トルコ)
3	フィレンツェ(イタリア)
4	ケープタウン(南アフリカ)
5	京都(日本)
6	ローマ(イタリア)
7	チャールストン(アメリカ)
8	バルセロナ(スペイン)
9	パリ(フランス)
10	チェンマイ(タイ)

## 2012年に 初のベストテン入り！ (9位)

1	バンコク
2	フィレンツェ
3	イスタンブール
4	ケープタウン
5	シドニー
6	ローマ
7	ニューヨーク
8	香港
9	京都
10	パリ

※「ワールドベストアワード」は同誌で1995年から始まった20年間続く読者投票ランキングで、世界の観光都市やホテル、クルーズ、旅行会社、航空会社等のカテゴリに分かれる。

※採点ポイントは、次の6項目①風景 ②文化/芸術 ③レストラン/食べ物 ④人 ⑤買い物 ⑥価値

**TRAVEL+  
LEISURE**



### ● 「Travel + Leisure」誌

月刊100万部を誇る旅行雑誌で、北米のリーダ一層等が主な読者で、世界的で最も強い影響力をもつ。